

秋葉の火まつり

秋葉神社・秋葉寺で行われる伝統の火祭り。浜松市春野町の秋葉山（標高866メートル）は、古代から信者がこの山を目指し、その道が「秋葉街道」と呼ばれ、今も県内外から多くの参詣者を集めている。

〔所〕静岡県浜松市天竜区春野町領家地内

〔時〕12月

〔電〕秋葉山本宮秋葉神社 053-985-0111



東栄町

花祭り（東栄町）（豊根村）

〔東栄町〕国の重要無形民俗文化財。鎌倉・室町時代に山伏や修験者によって伝えられ、700年にわたり伝承されてきた、生命の復活を祈る神事。11月～3月にかけて町内11か所で開催される。

〔所〕愛知県北設楽郡東栄町

〔時〕11月～3月までの期間数回

〔豊根村〕重要無形民俗文化財。舞庭（まいど）と呼ばれる土間で、祓い清めの儀式から湯ばやしなどの激しい舞を夜を徹して行う。中央には大きな釜で湯を沸かし、天井には湯蓋、四方に「ざげち」と呼ばれる切り紙の飾りをつるす。

〔所〕愛知県北設楽郡豊根村

〔時〕11月～1月

〔電〕0536-851161 〔豊根村教育委員会〕
http://www.willtoyono-ai.ch.jp/ 2kenkou/_maturi01.html



豊根村

三遠南信 Traditional entertainment 豊かに蘇る 日本の文化

花祭会館

花祭りの面・衣装・祭具・古文書の展示や、映像資料を用いてわかりやすく紹介する施設です。

〔電〕0536-76-1266 〔所〕東栄町本郷

〔時〕9:30～16:30

休館日：月曜日、年末年始

〔料〕300円



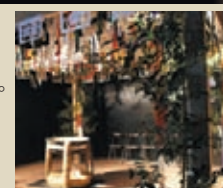
花まつりの館

地元NPOが廃校を利用して「花祭り」の貴重な映像や祭具を展示しています。写真展では、竹内敏信氏の「花祭」の作品をご覧いただけます。

〔電〕0536-79-3787 〔所〕東栄町大字御園

〔電〕http://hanamatsurinoyakata.com/

〔時〕12:00～16:00 休館日：水・木曜日、年末年始 〔料〕300円



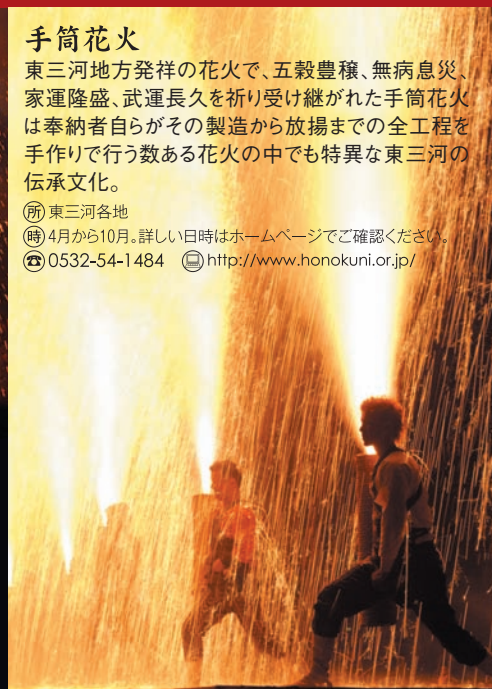
手筒花火

東三河地方発祥の花火で、五穀豊穡、無病息災、家運隆盛、武運長久を祈り受け継がれた手筒花火は奉納者自らがその製造から放揚までの全工程を手作りで行う数ある花火の中でも特異な東三河の伝承文化。

〔所〕東三河各地

〔時〕4月から10月。詳しい日時はホームページでご確認ください。

〔電〕0532-54-1484 〔電〕http://www.honokuni.or.jp/



炎の祭典

東三河伝統の手筒花火約250本が放揚され、躍動の炎、感動の余韻が見る人々の心を捕らえる。

〔所〕愛知県豊橋市今橋町3番地（豊橋球場）

〔時〕毎年9月第2土曜日

〔電〕0532-53-7211 〔電〕http://www.toyohashi-cci.or.jp/kanko/honoo/

豊橋祇園祭

吉田神社境内で手筒花火約300本、豊川河畔で打ち上げ花火約12,000本を奉納。夜空を彩る勇壮な花火は、天空にひそむ悪霊を吹き飛ばす最良の方法と伝えられている。豊橋の夏の風物詩として親しまれている。

〔所〕愛知県豊橋市関屋町 〔時〕毎年7月第3金・土・日曜日 〔電〕0532-53-5528

〔電〕www.gion.org/

〔料〕一部有料：機数席 17,500円（定員5名）

遠山霜月まつり

霜月神楽。兩部神道による湯立祭り。清和天皇の貞観年中に宮廷で行われていた催事を模した湯立が、ほぼ原型のままで伝承されているといわれている。国の重要無形文化財に指定。

〔所〕長野県飯田市上村・南信濃 〔時〕12月上旬～中旬

〔電〕0260-36-2211（上村） 0260-34-1071（南信濃）

〔電〕http://www.tohyamago.com/simotuki/



天龍村の霜月神楽

天龍村の向方（むかがた）、坂部（さかべ）、大河内（おおこうち）の各地区で行われる祭りを総称して、天龍村霜月神楽という。国の重要無形民俗文化財に指定される。

〔所〕長野県下伊那郡龍村坂部・向方・大河内・中井待

〔時〕1月3日～6日

西浦の田楽

国指定重要無形民俗文化財。

行事はすべて旧暦でおこなわれ、初日は旧一月一日に別当が正月の“男木飾り”を庭に飾ることからはじまります。

〔所〕静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家

〔時〕旧暦1月18日・19日



大雪（豊年）を願う祭り、伊豆神社境内でとりおこなわれる。田楽（でんがく）、舞楽、神楽（かぐら）、猿楽（さるがく）、田遊びなどの日本の芸能絵巻が徹夜で繰り広げられ、能や狂言などの伝統芸能の原点とも言われる。

〔所〕長野県下伊那郡阿南町新野
〔時〕毎年1月14日・15日

新野の雪祭り



田峯田楽

重要無形民俗文化財。三河三観音の一つである田峯観音に伝わる民俗芸能。昼・夜・朝田楽からなり、1年の農作業のあらましを模擬的に、夜半まで盛大に繰り広げられる。

〔所〕愛知県北設楽郡設楽町田峯字手籠前

〔時〕毎年2月11日

☎ 0536-62-1000 ① <http://www.honokuni.or.jp/contents/route/junrei/damine.html>

黒沢田楽

三河3田楽の一つ。村の繁栄と悪霊鎮魂、五穀豊穡（ほうじょう）を祈って奉納する。

〔所〕愛知県新城市七郷一色字黒沢

〔時〕2月第1日曜日



寺野のひよんどり

国指定重要無形民俗文化財。

松明の火を乱打する鬼の舞が豪快。

〔所〕静岡県浜松市北区引佐町茨川877（宝蔵寺観音堂）

〔時〕毎年1月3日

川名のひよんどり

国指定重要無形民俗文化財。

大松明と若者のもみあい豪壮。

〔所〕静岡県浜松市北区引佐町川名382-1（福満寺薬師堂）

〔時〕毎年1月4日



小國神社の十二段舞楽

天寶元年、勅使が奉幣したときに舞ったのが始まりだと伝えられています。江戸時代には鈴木左近家が代々指南役として裁量し、現在は「遠江国一宮小國神社古式舞楽保存会」が保存伝承に努めています。昭和57年文化庁より「重要無形民俗文化財」に指定されました。

〔所〕静岡県周智郡森町一宮3956-1

〔時〕毎年4月18日に近い土日

☎ 0538-89-7302 ① <http://www.okunijinjin.or.jp/event/bugaku/index.html>

遠州大念仏

三方原合戦の戦死者の供養と初盆の供養として行われている。

〔所〕静岡県浜松市中区鹿谷町25-10（犀ヶ崖公園）

〔時〕毎年7月15日



天宮神社の十二段舞楽

平安末期～鎌倉初期に伝えられ、江戸時代から一宮大祇宜の鈴木左近家が代々舞楽師匠方として、明治以降は氏子有志が楽人兼師匠方として努めるようになりました。十二の舞から構成され、国の重要無形民俗文化財に指定されています。例大祭で、舞が奉納されます。

〔所〕静岡県周智郡森町天宮576

〔時〕毎年4月第1土・日曜日

土曜午後4時～9時

日曜午後4時～10時



山名神社の天王祭舞楽

小國・天宮神社の十二段舞楽とあわせ国の重要無形民俗文化財に指定されている天王祭の八段舞楽。蟬螂（カマキリ）の舞は昆虫のかぶりものをつけて舞う全国的にみても貴重な舞。

〔所〕静岡県周智郡森町飯田2590

〔時〕1月17日に近い土・日曜日



掛塚まつり（貴船神社例祭）

磐田市掛塚で、毎年10月に行われる貴船神社例祭には、御輿渡御や浦安の舞が行われ、9ヶ町より豪華絢爛な屋台曳き廻しが行われる。

〔所〕静岡県磐田市掛塚

〔時〕10月第3土・日曜日

〔所〕愛知県北設楽郡設楽町平山
〔時〕2月第3日曜日

黒倉田楽

例年2月に黒倉神社で実施。「氏神の祭」、「田楽祭」と分けて行われる。

「山村の田楽・平地の田楽」

伝統芸能として知られる田楽ですが、山村の田楽と平地の田楽では、かなり形態が異なります。平地の田楽は、予祝の神事（豊作の前祝い）として田植えから収穫までの農作業を模擬的に踊る「田遊び」に由来するのに対し、「新野の雪祭り」や「西浦田楽」のような山村の田楽は、厳しい環境の中、米の収穫に対する願望を強調し、神々を勧請する神事芸能神楽の複合型です。このように地域の中に異なるルーツを持つ田楽が存在するのは、三遠南信地域ならではの特色といえます。

平野部の祭

横尾歌舞伎

県指定無形民俗文化財。

横尾・白岩地区に江戸時代より連綿と伝えられ、毎年公演されている農村歌舞伎。

〔所〕静岡県浜松市北区引佐町横尾、白岩

〔時〕10月第2土・日曜日

☎053-542-1111

🌐 <http://www.puppet-inasa.jp/kabuki/index.html>



歌舞伎

【大鹿歌舞伎】230年余伝承される地芝居で定期公演は神社の回り舞台上で演じられる。

国選択無形民俗文化財。

【下條歌舞伎】村の伝統芸能として300年近い歴史を持ち、無形民俗文化財に指定されている。

明治期に、若い愛好者によって各地区に広まり競って上演されたり、他町村にも招かれ名声を高めた。

【平谷歌舞伎】街道の宿場町として栄える中で、江戸時代に村の若衆たちが旅芸人から学び、地芝居として定着したとされる「平谷歌舞伎」は、現在でも「珍珍幕府～秋の陣」で上演され、大変好評。



大鹿歌舞伎 〔所〕長野県下伊那郡大鹿村大河原・鹿塩 〔時〕毎年5月3日・10月第3日曜日

下條歌舞伎 〔所〕長野県下伊那郡下條村 〔時〕毎年11月下旬 🌐 http://www.ii-s.org/kankou/logs/post_4.html

平谷歌舞伎 〔所〕長野県下伊那郡平谷村 〔時〕毎年10月下旬

篠原の火渡り

毎年1月18日、遠州・三河・信州の各地から修行僧が集り火伏せの行が行われます。立ち上がる炎の中、参加者が次々と護摩壇を渡って一年の願をかけます。

〔所〕静岡県西区篠原町3897-2(保泉寺)

〔時〕毎年1月18日

☎053-448-3733



飯田お練りまつり

大宮諏訪神社の式年祭礼に合わせて7年に1度行われ、大勢の人がまちをねり歩くことからそう呼ばれるお祭りです。大名行列や東野の大獅子舞など、伝統を受け継いだ出し物は豪華絢爛なんとも賑やかで、見ごたえたっぷりです。

〔所〕長野県飯田市 〔時〕申寅の年3月下旬

☎0265-24-1234 🌐 <http://oneri.iidacci.org/>

人形浄瑠璃

伊那谷には人形浄瑠璃四座(今田、早稲田、古田、黒田)がある。このうち今田座・黒田座の二座が、約三百年もの間、飯田市の地元保存会にて伝統芸を継承している。

【今田人形浄瑠璃】約300年前から伝わる人形芝居。宝永元年(1704年)、氏神様(大宮八幡社)のお祭りを賑やかにするために操り始めた人形浄瑠璃。現在、地元の保存会により伝承されている。国の選択無形民俗文化財に指定されている。

〔所〕長野県飯田市龍江3710-3 今田人形座事務局(木下) 〔時〕10月中旬

☎0265-27-2128 🌐 <http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/puppet/imada/>



【黒田人形浄瑠璃】浄瑠璃を語る「太夫」と伴奏をする「三味線」、人形を操る「人形遣い」の三業で演じる人形劇。天保11年に建てられた人形浄瑠璃専門の舞台上、毎年奉納上演が行われる。人形浄瑠璃・専用舞台ともに国の重要有形民族文化財に指定されている。

〔所〕長野県飯田市上郷飯沼3145 飯田市上郷公民館(事務局)

〔時〕4月第2土曜日・日曜日

☎0265-24-7744

🌐 <http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/puppet/kuroda/>



見付天神裸祭

毎年旧暦8月10日の直前の土、日曜日にかけて行われる国指定重要無形民俗文化財。サラシと腰蓑(こしみの)を身に付けた裸姿の男達が乱舞することから、「裸祭」と呼ばれています。

〔所〕静岡県磐田市見付

〔時〕旧暦8月10日の直前の土・日曜日

🌐 <http://hadakamatsuri.jp/>

三遠南信の三つの地域を一体化するトライアングル構想では、三遠南信道は国道152号の遠山谷を経由することとなった。それに危機感を抱いた南信の阿南町が中心となり、豊橋から飯田を結ぶ国道151号沿線の活性化に動き出した。幸いこの沿線には伝統芸能や祭り、文化が数多くあったため、平成11年当時の建設省の支援のもと「祭

祭り街道

り街道」と命名。全街道に広げようと粘り強い運動を展開してきた。東栄町や豊根村の花祭り、和合の念仏踊り、早稲田の人形芝居など郷土色溢れる行事が目白押し。平成21年9月には祭り街道制定10周年イベントが盛大に行われた。

今、新たな観光地としての期待は大きい。

festival highway